

ニッポンハムグループ

中期経営計画2023 進捗説明会

2023/11/7

日本ハム株式会社

代表取締役社長 井川 伸久

- 1 トップメッセージ
- 2 戦略の方向性
- 3 経営課題と変革テーマ
- 4 新たな成長に向けた共創・挑戦
- 5 資本効率の向上

新たなステージに向けて、 構造改革と成長戦略に覚悟を持って挑む

～変化に適応する柔軟なビジネスモデルの構築へ～

- 早期の過去最高益達成を通過点とし、3年遅れでVision2030の事業利益計画を達成する
- 挑戦する組織風土にスピード感を持って変革し、社外共創することで継続的に成長する企業体となる

Vision2030

たんぱく質を、もっと自由に。

～新たなステージに向けて～

これまで

- 低収益・不確実性（ボラティリティ）
- 事業領域拡大による経営資源分散
- 国内偏重の利益構成
- 自社完結型ビジネスモデル

挑戦する風土へ

これから

- 高収益・安定利益創出
- 経営資源集中を加速
- 海外利益構成比の向上
- 社外共創による柔軟なビジネスモデル

企業理念「食べる喜び the joy of eating」

早期の過去最高益達成を通過点とし、3年遅れでVision2030の事業利益計画を達成する

中計2026

- 構造改革遂行と投下資本コントロール強化で、既存事業の収益力を底上げ
- 新たな成長領域（海外加工・新領域等）へ投資を開始

Vision2030

- 継続的な事業入れ替えを通し、高収益な事業体を構築
- 成長領域等の投資効果を刈り取り
- 継続的な成長に向けて挑戦する自立型組織に変革

Vision 2030

中計 2026

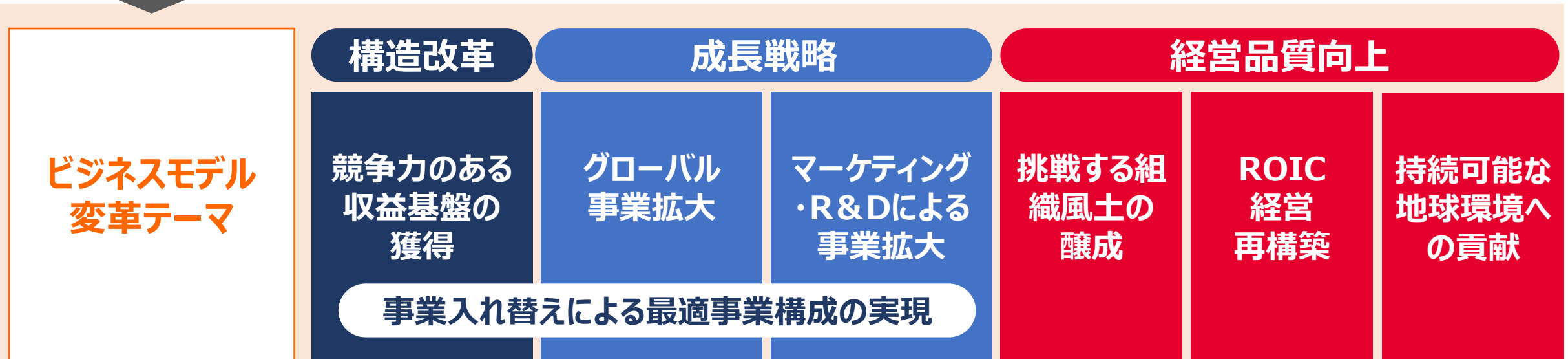
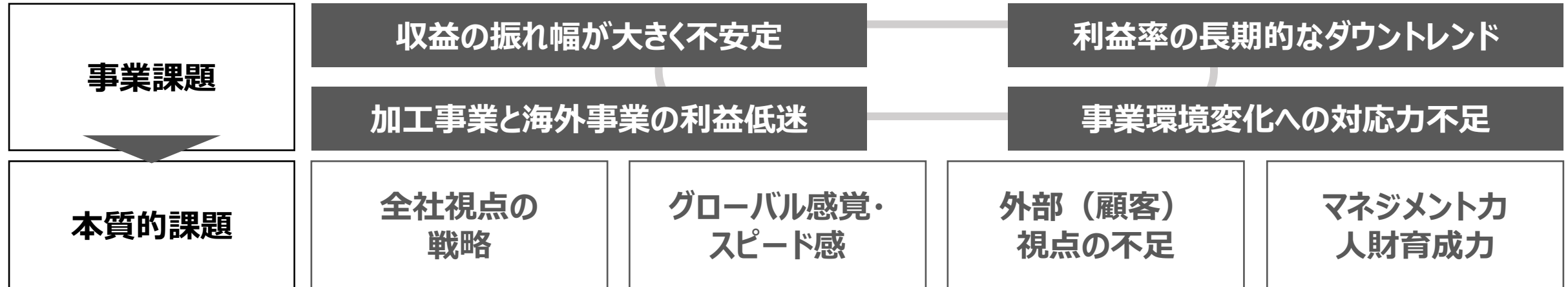
過去最高益
538億円

440億円

新たな事業利益ステージへ

2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 (年度)

ボラティリティの低減とマージンの改善に向け次期中計の変革テーマを策定

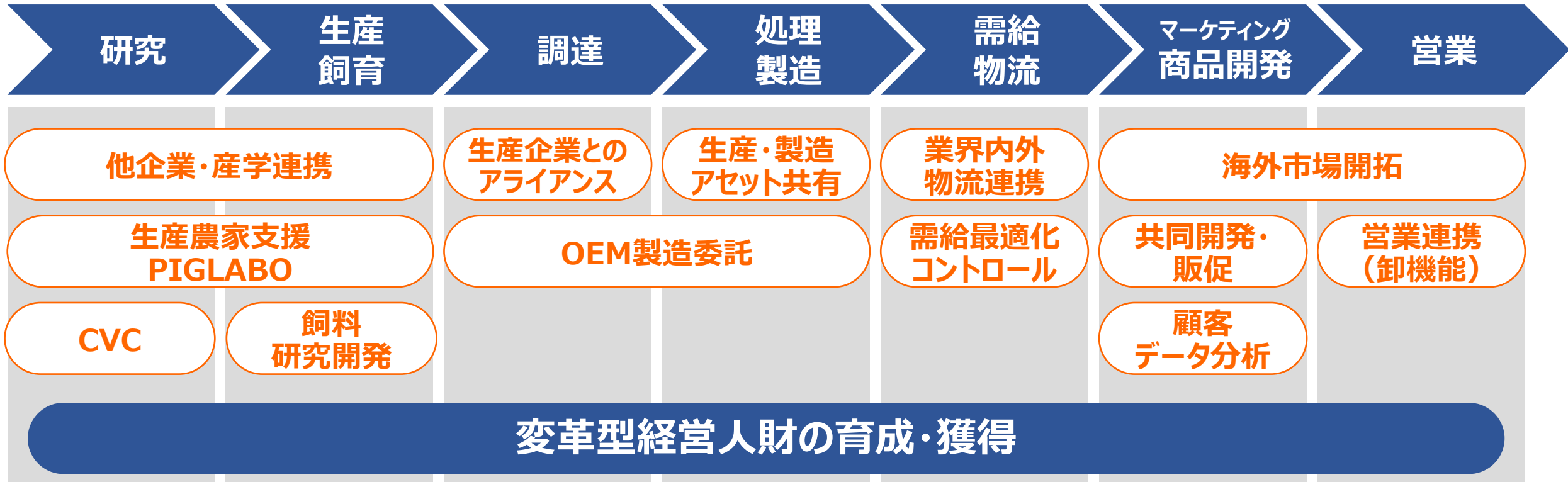


経営のリーダーシップで戦略遂行を強化、構造改革を加速し、成長戦略を具現化

ビジネスモデル変革	構造改革	競争力のある収益基盤の獲得 (固定費の最適化)	加工事業の構造改革完遂
			国内豚事業バリューチェーン利益最大化
			海外事業の低収益事業見直しとボラティリティの低減
			物流改革によるコスト低減
	成長戦略	グローバル事業拡大	北米・アセアン加工食品事業拡大
		マーケティング・R&Dによる事業拡大	国内鶏事業 生産・調達強化
			加工事業の新規カテゴリーの創造
			加工品販売拡大によるフード営業力の更なる強化
	ボールパークの集客力強化と新領域拡大に向けた土台作り		
	経営品質向上	挑戦する組織風土の醸成	変革型経営人財の育成・獲得/従業員エンゲージメントの向上
ROIC経営再構築		投下資本コントロール・経営視点によるモニタリング	
持続可能な地球環境への貢献		社外共創による畜産GHG削減の研究・プラスチック等資源の有効活用	
			ビジネスモデル変革を支えるDX

新たな成長に向け取り組む共創・挑戦①

様々な環境変化への適応力を高めるため、共創により新たな選択肢を獲得する



グローバル・業界を超える共創関係構築・知財共同保有

変化をチャンスと捉え、果敢に挑戦する人財を育て、更なる成長を遂げる

挑戦する組織風土の醸成

2026
注力課題

変革型経営人財の育成・獲得 従業員エンゲージメントの向上

取り組み

- 挑戦を認め、具現化を後押しする仕組みの強化
- 経営者サクセッションプランの強化、キャリア採用強化
- 対話を通じた企業理念・Visionの更なる浸透、“自分ごと化”促進

「共創」と「挑戦」でビジネスモデル変革をやり遂げ、継続的に成長する企業体へ

ROIC向上を図ると共に、最適負債・資本の実現を通じたROE向上によりPBR改善につなげる

収益性の向上と投下資本コントロールの両面から取り組みを実施

収益性 向上

- 進行期の着実な業績目標の達成
- 中計2026基本戦略実行による利益水準の引き上げ

投下資本 コントロール

運用(資産)サイド

- 設備投資：
本部主導で戦略的配分、既存資産の入れ替え、社外共創によるアセット抑制
- 金融資産圧縮
- 資本コストを意識したモニタリング強化

調達サイド

- 最適負債・資本構成の維持（DEレシオ 0.5～0.6）
- 成長投資の調達は有利子負債が基本
- 配当成長を維持し、自己株式取得も組み合わせることで資本最適化



Nipponham Group



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030